

議場でオカリナコンサート

こころなごむ調べ

9月17日に再開された第3回笠松町議会定例会の本会議前に、芸術文化の振興の気運を盛り上げようと、町内で活動するオカリナサークルのメンバー6人による、議場コンサートを開催されました。

「オカリナ」のメンバーは、「ふるさと」「みかんの花咲く丘」「見上げてごらん夜の星を」など5曲を演奏し、その美しい音色を議場に響かせ、町議会議員や町職員、傍聴者らを魅了しました。



オカリナの美しい音色が響く議場

お祝い訪問 百歳おめでとうございます!



町長から祝状などを贈られた松原さんと佐合さん(左から)

佐合ふさをさん 松原つたへさん に長寿者褒賞金

笠松町内には、今年度100歳になられる方が4人いらっしゃいます。

老人の日の記念事業として、内閣総理大臣から長寿の祝状と記念品が贈られ、9月22日に広江町長からそれぞれの方に手渡されました。

また、10月に町から満100歳を迎えられた2人に対し、長年にわたり地域の発展に寄与されてきたことを感謝するとともに長寿をお祝いし、長寿者褒賞金を贈呈しました。

日本赤十字岐阜県支部から 災害救援車 笠松町分区に配備

岐阜市西部にある日本赤十字社岐阜県支部で、笠松町分区に配備する災害救援車の引き渡し式が行われました。

町では、災害救援車(4WDバン)を災害救護活動の充実と赤十字事業の円滑な推進を図るために活用していきます。

災害救援車は、既に平成6年度に1台配備をされており、配備後10年以上経過しておりますが、これで2台となりました。



配備された災害救援車

鮎鮠は將軍様が食べたの 笠松の歴史を学ぶ

9月25日笠松小学校では、昨年に引き続き岐阜市歴史博物館の笈真理子学芸員を特別講師に招いて、江戸時代に笠松を通して將軍に献上された鮎鮠についての特別授業を行いました。

6年生51人は、笈先生から鮎鮠の歴史や作り方・住民が運搬したことの説明を聞きました。桶に鮎鮠を漬け込んだレプリカだけでなく、今年は、本物の鮎鮠のにおいを嗅いだり、高嶋久右衛門宅にある貴重な古文書を見たりして学びました。児童から数多くの質問があり、郷土の歴史に対する関心が深まりました。



鮎鮠のレプリカを見つめる児童